
らき すた 流れ星に願いを

kometto

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

らき すた 流れ星に願いを

【Nコード】

N4153H

【作者名】

k o m e t t o

【あらすじ】

前回の続きです。今度こそはちゃんとしたストーリーなので見てください

らきすた

第1話 平和

キーンコーンカーンコーン

先生「出席とるでー 泉こなた 泉また遅刻か」

ダッダッダッダッダ

こなみ「ストーリーップまだ遅刻じゃないよ」

先生「はあーいったい今度の遅刻の理由はなんや？」

こなみ「ネトゲがやめられなくて」

先生「そんな理由で大切な学校遅刻すんな」

つかさ「おはよこなちゃん」

こなた「あーおはよ、つかさ」

この子は柊つかさショートカットでいつもリボンを付けてる双子の妹

みゆき「おはようございますこなたさん」

こなた「あーおはよ、みゆきさん」

この人はたからみゆきさんピンクのかみで眼鏡をかけてるとても勉強ができる

くあつという間に休み時間く

かがみ「おっすこなた」

こなた「あーおはよ」

かがみ「いやもう十時近くだからおはようじゃないだろ」

この子は柊かがみツインテールでツッコミ担当双子の姉

くあつという間に放課後く

先生「明日テストあるからまあがんばりいや」

一同「適当すぎだく」

次回第二話試験

第二話試験

第二話試験

<泉家> こなた「ただいまー」

こなた父「おかえりーこなたー」

こなた「さーてテスト勉強頑張りますか」

――三十分後――

こなた「ふうー休憩にネトゲでもやりますか」

カチャカチャカチャカチャカチャ

こなた「あれなんか敵がアイテム落とした」

魔剣レーバティンをゲットした

こなた「おおスゴイレアゲットよーしこのまま試し切りにいくかな
きょうはてつやだぞ」

十二時ータラタラタタンターンー

こなた「忘れてた：しょうがない得意の一夜付けで」

次の日

こなた「おはよ」

「三人「おはよー」

かがみ「でこなたは一夜付けでやったのまあどんなにいい点数取れるかねー」

テスト後

かがみ「えつと私が94点でつかさが88点みゆきが98点で一夜付けのひとは？」

こなた「おかげさまで<94点>」

かがみ「なつとくいかねー――――――」

つかさ「こなちゃんのくせに」

先生「さーてここで転校生をしょうかいするでー」

先生「入ってきて」

涼夏「田口涼夏です よろしく願いします。」

先生「席は泉のとなりな」

こなみ「よろしく私泉こなた」

涼夏「よろしく」

こなた「とゆことで涼夏ちゃんだよ」

三人「よろしく」

つかさ「いつそのことみんなの呼び名決めるね」

つかさ「こなちゃんとうきちゃんは決定」

つかさ「お姉ちゃんはきょうちゃん私はひーちゃん」

つかさ「すずかちゃんはなっちゃん」

涼夏「なんで？」つかさ「夏がつくから夏ちゃんになっちゃん」

涼夏「なるほど」

かがみ「きょうちゃんはやめて」

こなた「じゃあなんてよんでほしい？」

かがみ「鏡様」

こなた「『、、、、、』」

こなた「おい鏡様」

鏡様「ほんとうによんでるし」

こなた「鏡様？」

周りの人「ひどいよねえ」

鏡様「頼むからやめてくれ後ナレーターも」

次回第三話ゲーム

第三話ゲーム

第3話ゲーム

こなた「ついたよ」

かがみんたちはこなたに誘われてこなたの家でゲームをやることにしました

こなた「じゃあドラクエ3やりますか」

かがみ「みゆきは？」

涼夏「歯医者だつて」

つかさ「ふーん」

ゲーム開始

主人公の名前　こなた

精霊「最後の質問です」

トウウウウン　かがみ「変な音」

つかさ「あれ悪魔になつてる」

村人「化け物め退治してやる」

ぼっ

村人「うあー」

涼夏「次は宿屋なんだ」

宿屋主人「命ばかりはお助けを」

ぼっ宿屋主人「なっなんで」

こなた「あら話そうと思つたのに」

かがみ「嘘付け」

こなた「あきた」

かがみ「おいっ」

質問の結果

あなたはあまえんぼうのようですね

一同「なるほどあたりだ」

こなた「じゃあここまでにしますか」

・・・あきたな絶対

こなた「あきたし」

・・・やつぱり

白石「時間余ったので俳句大会開催するぞー」

涼夏「あれ誰」

こなた「あれは白石ことセバスチャンだよ」

涼夏「なんで白石ことセバスチャンなの？」

こなた「なんとなく」

すずか&かがみ「なんとなくかよ」

こなた「じゃああたしからいくね」
「楽しみは毎日かがみで遊ぶこと
」どう？」

かがみ「前々から思ってたけどけんかうってんのか」

こなた「ノンノンノン」

かがみ「じゃあ次はあたしから」
「体重があつという間にまたふえた
」

涼夏「思いついた」

かがみ「どんなの？」

涼夏「そのこと 世ではこう言う リバウンド」

かがみ「すーちゃんあんたツッコミでしょうがー」

涼夏「あはは」

つかさ「最後はあたしか よーし」
「つかさです わたしはつかさ
つかさです」

かがみ「どうつつこめばいいかわからないさすが天然」

せばすちゃん「優勝者はでー」
「ー」
「んこなたさんです」

かがみ「納得いくかー」

こなた「次回18896話沼に落ちた水戸黄門」

かがみ「もう大変だからつつこまなくていいか」

本当の次回第4話花火

第三・五話登場人物紹介

「第3・5話 特別企画登場人物紹介1」

***「まずこの人から」

***「泉こなた青髪でロングヘアぼけ役見た目はお母さんに似て小学生体型でも高校三年生

さらにお父さんに似ておたくこの物語の主人公、お母さんはすでに他界趣味はネットゲーム」

***「そしてこの人」

***「柊鏡髪はうす紫色でツインテール双子の姉四人姉妹ツッコミ担当こなたの親友

よくつかさやこなたに宿題を写させてあげてる一言で言うツンデレ」

***「次はこの人」

***「柊つかさ髪はうす紫色でショートカット頭にいつも黄色いリボンつけてる

ぼけ担当で勉強が苦手」

「最後にこの人」

***「たからみゆきピンクの髪でロングヘアぼけ役勉強がすごくできる意外ともてる」

***「+アルファ」

***「田口涼夏 髪は茶色 毎度毎度髪型は変わる二人目のツツコミ役

勉強も運動もできる。すごく優秀で優しい。シュシュをよく付けてくる」

***「後一人」

***「黒井先生金髪のくせに大阪弁を使う三年B組の担当ネットゲームが大好きでよく泉こなたとパーティをくnder

***「まあ説明はこんな感じかな」

***「え？ぼくは誰かって？」

***「ぼくは7/13にりゅう桜学園に転校してきた高校三年生。誕生日は9/21日

乙女座でO型

あ、ついでにぼくは男の子だから」

***「詳細は第四話の途中で教えるよ」

次回第四話花火

第4話 花火

第四話「花火」

7 / 13 日

黒井先生「今日も転校生紹介するでー」

黒井先生「入って来ていいぞ」

悠気「転校してきた佐藤悠気です。よろしくお願いします」

黒井先生「席は田口の隣な」

休み時間

悠気「おひさしぶり。すーさん」

涼夏「どなたですか？」

悠気「小学校いっしょだった」

涼夏「ああ。あたしのことすきだった」

悠気「そうゆうこと人前でしかも大声で言わないで」

涼夏「あははごめん」

こなた「ふ~~~~~」

~~~~~ん

悠気「な、何」

こなた「どつりで仲がいいわけだ」

悠気「でこの子誰」

こなた「むうう絶対小学生だと思ったでしょ」

悠気「こ名答」

涼夏「ちっこいのがいずみこなた」

こなた「よろしく」

涼夏「でこのツインテールの子が柊かがみ」

かがみ「よろしく」

こなた「ついでにシンデレ」

かがみ「うるさい」

涼夏「でショートカットのこがつかさ」

つかさ「よろしく」

こなた「ついでにかがみの双子の妹」

涼夏「で眼鏡の子がたからみゆき」

みゆき「よろしくお願いします。」

こなた「一人暮らし？」

悠気「うん」

こなた「じゃあ会って間もないけど、交流を深めるために花火大会やろうよ」

悠気「いきなりすぎだろ」

こなた「ツツコミ役か、かがみと気が合いそうだね」

涼夏「でどこでやるの」

こなた「悠気君の家」

バコッ

かがみ「押しかけストップ」

悠気「別に僕の家でもいいよ」

・・・

悠気「？」

こなた「自分のことを僕って呼ぶ、高校生ってどうかな」

悠気「うるさい。お前は言えないぞ、身長小学生並」

こなた「ナイスツツ」

悠気「と言うことで、4時30分に陵桜学校集合でいいよね」

こなた「いいよ。」

〓四時半〓

悠気「おまたせ〓〓〓、つてこなたは？」

かがみ「来てないよ」

20分後

こなた「ごつめ〓〓〓んおくれた」

かがみ「ほのぼのとしてるな〓〓20分オーバーなのに」

つかさ「それにしても、どうしておくれたの？」

こなた「それがさ〓〓」

かがみ「ネトゲがやめられなくて〓〓とか言うなよ」

こなた「ギクッ　そ、そんなことないよ…」

かがみ「ばればれな、うそつくな〓〓」

悠気「それはいいとして僕ん家にいこっか」

こなた「お~~~~~」

10分後

悠気「ここが僕の家だよ」

みゆき「高そうな家ですね」

悠気「実家だけどね」

こなた「じゃあやろっか」

文字数の問題でとびます。本当にすみません

こなた「楽しかったねえ」

かがみ「もう帰るわね」

つかさ「バイバイ」

涼夏「じゃあまた明日」

悠気「うん。また明日」

次回 第五話「世界」



## 第4話 花火（後書き）

作者からのお詫び

こなたたちが通ってる学校はりゅう桜ではなく  
陵桜学校でした。  
すみませんでした。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4153h/>

---

らき すた 流れ星に願いを

2010年10月10日16時28分発行